＜様式３－１＞

海外渡航届

|  |  |
| --- | --- |
| 採用年度 |  |
| 資　　格 | SPD PD RPD DC2 DC1 |
| 書面合議(・面接)審査区分 |  |
| 年度受付番号 |  |

令和　　年　　月　　日

独立行政法人日本学術振興会理事長　殿

フリガナ

登録名

下記のとおり、海外渡航に関する期間等を報告します。

記

１．海外渡航目的：　研究遂行　研究指導委託(DCのみ)　国際共同学位等の教育連携体制に基づくジョ

イント・ディグリー、ダブル・ディグリー等（DCのみ）

研究遂行の場合は理由：

２．渡航先の国名：

３．研究機関等（渡航先）の名称：

（機関がない場合は都市名等の詳細）

４．渡航期間：（出国日）令和　　年　　月　　日　～　（帰国日）令和　　年　　月　　日（　　　　日間）

５．渡航経費（該当するものをチェック（複数選択可）し、「その他」を選択した場合は内容を具体的に記入してください）

自己負担（研究奨励金含む）

特別研究員奨励費

その他 →　負担する機関名等：

助成内容：【 航空運賃・宿泊費・日当・その他（　　　 　 　） 】

|  |
| --- |
| 【受入研究機関の事務局が確認（チェック）してください。】  受入研究者の承認：承認済  部局長（研究機関長でも可）の承認：承認済 |

■受入研究機関事務局　お問い合わせ先（受入研究機関の事務局にて記載ください）

機関名・部署名：

メールアドレス：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　電話番号：

（注）

①　1.海外渡航目的は、「研究指導委託」「国際共同学位等の教育連携体制に基づくジョイント・ディグリー、ダブル・ディグリー等」の場合はチェックのみ、「研究遂行」の場合はチェックの上、目的を具体的に（例：渡航先には実験装置が整っているため）記入してください。

②　DCが海外渡航した場合、「海外渡航報告書＜様式3-2＞」を添付してください。

③　「受入研究者」欄は渡航先の受入研究者ではなく、国内受入研究機関の受入研究者になります。

④　渡航期間開始日には出国日を、渡航期間終了日には帰国日を記載してください。

⑤　1回の渡航で渡航先が複数ある場合は、渡航先の国名等の欄に複数国を記載ください。